

令和元年度 公費解体制度の担当者向け勉強会 (近畿ブロック)

日時：令和元年11月7日（木）
13：30～16：30

場所：TKPガーデンシティ新大阪 6階
バンケット6A

プログラム

◆主催者あいさつ（13:30～13:35）

環境省近畿地方環境事務所 資源循環課 課長 山根 正慎

◆講演1（13:35～15:05）

◇休憩10分

◆講演2（15:15～16:25）

◆閉会（16:25～16:30）

講演概要

◆講演1（13:35～15:05 ※質疑応答5分含む）（90分）

「熊本地震における災害廃棄物処理事業（公費解体）への取組について」

住谷 憲昭氏（熊本市経済観光局 観光交流部 副課長）

<講演概要>

熊本地震の際、熊本市で実施した、申請から補助金対応まで、家屋解体・撤去事務について解説する。特に、発災直後から、市町村が実施すべき業務について、どのような組織体制を構築して進めたのかなど、実際に行った事例をもとに説明する。

◆講演2（15:15～16:25 ※質疑応答5分含む）（70分）

「被災建物の公費による解体撤去と事務について」

茶山 修一氏（横浜市資源循環局 車両課長）

<講演概要>

豪雨災害、土砂災害が多発する日本において、災害から復興する上で避けて通れない「損壊家屋等の解体撤去」について、公費で解体する法的根拠、実際の事務、費用償還の手続きなど、東日本大震災に対応した事例などを参考に説明する。

主催：環境省近畿地方環境事務所